

1. 掲示板の変更について

本ホームページでは、新潟県中越大震災ならびに山古志村の復興に向けた議論を行う場を提供することを主な目的として「意見交換の広場」(掲示板)を開設していました。しかし、個人への誹謗中傷の類の意見が後を絶たず、運営に支障をきたしたため、やむなく掲示板を閉鎖させていただき、皆様からご意見を募集する「ご意見募集」コーナーを新設することといたしました。

またお寄せいただいたご質問の中から、特に多かったご質問に対して、研究会の基本的な考え方を以下に記載しますので、ご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

(山古志復興新ビジョン研究会事務局)

2. 研究会の基本的な考え方について

ご質問1 「山古志復興新ビジョン研究会」とはどのような団体ですか？山古志村と関係があるのですか？

<回答> 「山古志 復興新ビジョン研究会」は山古志村主導の研究会ではありません。全村民に対して避難勧告命令を出さざるを得ないほどに壊滅的な被害を被っている「山古志の復興」を通して、今回の新潟県中越大震災の復興を支援(研究会発足の主旨)したいと考えている委員各位の賛同(復興委員会規約)のもとに発足した任意の組織です。

今日現在(1月24日)でも、日本有数の豪雪地帯に位置する新潟県中越地方では、被災地の積雪が各地で2メートルを越えています。なかでも山古志村の積雪は、3メートルを越える積雪量を記録しています。本研究会では、「雪を知り、新潟を知っている」委員の皆さんの知恵を集め、地域特性を踏まえ、地域に即したオーダーメイドの復興ビジョンを検討・策定していきたいと考えています。(事務局)

ご質問2 新潟県中越地域の全域が甚大な被害を被っているのに、なぜ山古志村だけを対象に復興計画を作成するのですか？

<回答> 「山古志 復興新ビジョン研究会」では、山古志周辺地域を含めた復興ビジョンを示そうと考えています。

また、本研究会で取りまとめる「復興ビジョン」のなかでは、できるだけこの地域の実情に即した「復興プロセス」を示したいと考えています。この「復興ビジョン」は、山古志村以外の被災地域においても、「復興プロセス」を含めて参考にしていただけると考えています。(事務局)

ご質問3 壊滅的な被害を被った山古志を復興するためには、莫大な費用が必要だと思いますが、その費用についてどのように考えているのですか？

<回答> これまで、長い時間を掛けて整備してきた社会資本ですから、一瞬にしてその機能を失った施設を復旧するために多くの経費を必要とすることは事実ですが、本研究会では、被災された方々の「自立」を支援するものであり、投資とのバランスを考え、実現の可能性のある「復興ビジョン」と、そのプロセスを示したいと考えています。(事務局)